

## MICE開催による、「食」産業の活性化（食×MICE）

### 食のMICEの例

FOODEX JAPAN（国際食品・飲料展）

FOOMA JAPAN（国際食品工業展）

ミートフードEXPO

モバックショウ（国際製パン製菓関連産業展）



FOODEX



モバックショウ



ミートフードEXPO



FOOMA JAPAN

# 「OSAKA」ブランディング構築のための事業展開 <食>

2019年10月

世界のトップシェフを招聘した「食のまち・大阪ブランディング事業」



# 「大阪＝日本の観光ショーケース」に向けた取組の推進 重要コンテンツ 文化芸術観光

## 《2022年度の実績》


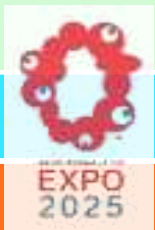

- 「文化芸術観光ネットワーク大阪Art Flavor Osaka」結成（2022年11月22日）
- 情報ポータルサイト開設Instagram運用
- 大阪府登録文化財所有者の会との連携によるユニークベニュー開発に向けた協議
- 文化芸術観光ネットワーク大阪による文化芸術観光ポータルサイト構築作業の実施



## 2023年度取組方針

- 美術館・博物館、劇場・寄席、建築等の基本情報を掲載するポータルサイトの公開（6月予定）・充実化
- Instagramの運用とキャンペーン実施による情報発信
- 大阪府内の文化施設の観光再始動事業と連携したイベント支援
- 文化芸術観光ネットワーク大阪の運営

文化芸術に触れる  
機会を創出し、  
大阪ファンを拡大

	2022年	2023年	2024年	2025年以降
取組方針	文化芸術観光ネットワーク大阪の運営			国際観光文化都市としてのブランド構築 24
	情報発信			
	イベント誘致・広報支援			
取組内容	文化芸術観光ネットワーク大阪の取組 ポータルサイト      Instagram		文化芸術観光ネットワーク大阪 ・講演会場やイベント開催施設と連携したチケット販売	
			情報発信 ・ポータルサイトの磨き上げ ・Instagramの継続的な投稿	イベント誘致 ・文化芸術に関する観光イベントの誘致や広報等の支援

# 大阪・関西の恵まれたスポーツ環境 <スポーツ>

## プロスポーツとの連携したスポーツツーリズムの活性化

### 観るスポーツ

サッカー



野球



ラグビー



相撲

バスケット



### するスポーツ



サイクリング

ハイキング

ゴルフ



ランニング

SUP

マリンスポーツ

Etc...

### スポーツ/ウェルネスメーカー

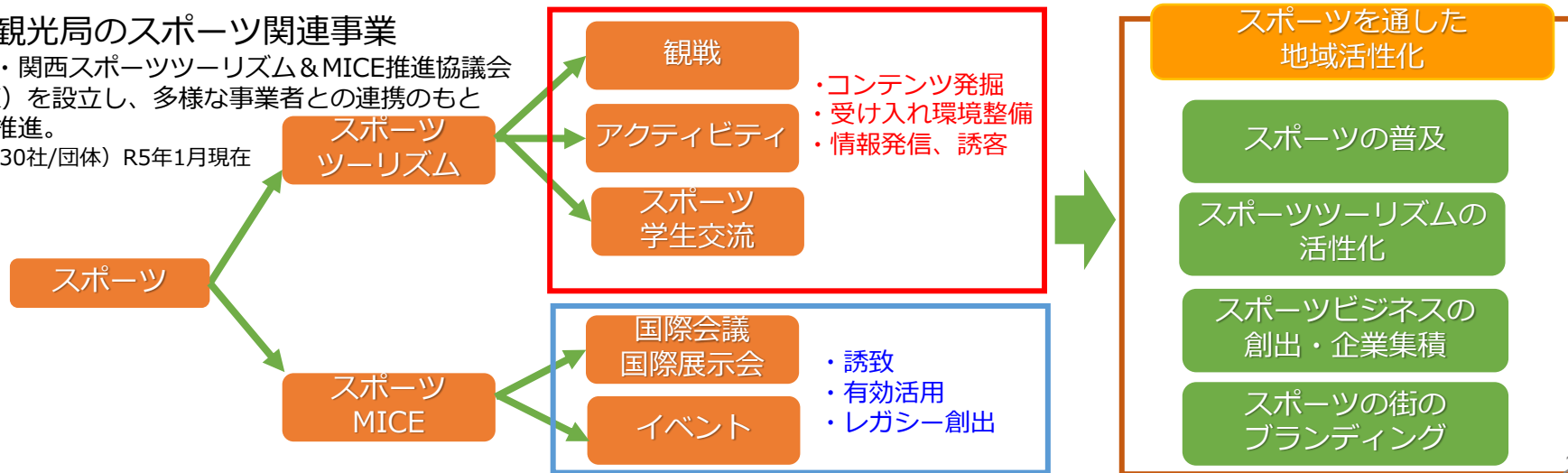


Etc...

### ◆大阪観光局のスポーツ関連事業

※大阪・関西スポーツツーリズム&MICE推進協議会 (SECOK) を設立し、多様な事業者との連携のもと事業を推進。

(加盟数：30社/団体) R5年1月現在



# 重要コンテンツ開発<スポーツツーリズム>

## ～スポーツエンターテインメントシティ 大阪・関西の実現へ～

### 広報・ブランディング

■デジタルガイドブック「Sports Entertainment City OSAKA」制作、配布

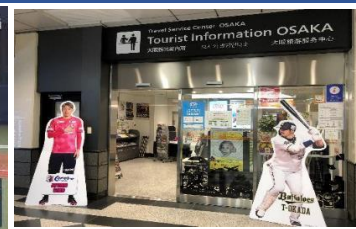
目的：海外メディアや競技団体に対するスポーツシティ大阪のブランディング  
内容：メーカー、プロチーム、試合会場、会議場等を紹介（計32ページ）  
言語：英語  
配布：東京オリンピック開催時、東京都メディアセンターにて配布  
大阪観光局ホームページよりダウンロード可



Sports Entertainment City OSAKA  
Osaka Convention & Tourism Bureau



プロ野球公式戦を活用した「大阪楽遊バス」の宣伝



観光案内所を活用した広報観光大使 等身大パネル設置

### サイクリングツーリズム

## 自転車で大阪・関西万博会場へ！ゼロカーボン社会の実現

<これまでの取り組み>

R2年度 実証実験：観光庁誘客多角化事業採択  
「ワイン・梅酒街道」を巡るサイクリングツアー（柏原市・羽曳野市）  
・ガイド養成、コース紹介Webサイト、マップデータ制作  
<今後の取り組み>  
R4年度 新規コース造成  
R5年度～ 大阪・関西万博に向けた商品造成



【参考：堺市かわまちづくり計画】

- 計画期間：平成31年3月から令和7年3月
- 目的：広域自転車ルートとしての機能向上のため、連続した通行環境を確保すること
- 実施内容：河川管理用通路の整備  
**魅力創出に向けた施設整備** 等



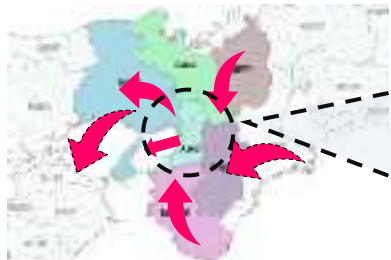
<導入を検討している賑わい拠点の機能>

- サイクルサポート  
休憩室・トイレ・シャワー室・更衣室・サイクルロッカー
- 体験型自転車教育
- カフェレストラン・サイクルショップ・駐車場 等

### ○大阪・堺を「自転車の聖地」に

大阪・関西万博に向け、全国各地のサイクルルートと大阪府内のサイクルルートの連携を深め、日本全国のサイクリストを堺市を経由して次のサイクルルートに向かわせるハブ機能を発揮

### 大阪を起点・経由地とした“バイクパッキング”の提案



※（出典）「広域的な自転車通行環境整備事業計画」（大阪府・大阪市・堺市）

### アドベンチャーツーリズム

## 自然×身体活動×地域文化体験による新たな観光需要創出

目的：広域周遊×長期滞在型商品の造成による経済活性化  
対象：欧米豪

<今後の取り組み>

R4年度 ルート策定、動画制作、英語版Webサイト構築  
R5年度 9月 アドベンチャートラベルワールドサミット（北海道）  
大阪・関西万博開催までにガイドツアー商品を造成する



# 「大阪＝日本の観光ショーケース」に向けた取組みの推進 重要コンテンツ スポーツツーリズム（スポーツ関連MICEの誘致）

## 《2022年度の実績》

- 2件誘致（ダイハツ・ヨネックスジャパンオープン、AIMS世界総会大阪）ほか16件後援名義で協力
- 大阪マラソン2023～OSAKA MARATHON2023（「第11回大阪マラソン」）開催支援（2023年2月26日）
- AIMS（国際マラソン・ディスタンスレース協会）第23回総会 実行委員会参加（2023年2月23日～25日）参加者：国内外約500名
- 「CYCLE MODE RIDE OSAKA 2023」開催支援（2023年3月4日～5日）参加者：約11,000名
- 日本セーリング協会、日本ラクロス協会に対し、将来の理事会や競技大会の開催の提案



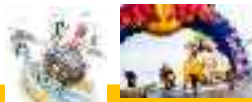
## 2023年度の取組方針

## スポーツエンターテインメントシティの実現

### ○アドベンチャーツーリズム、アーバンスポーツ、eスポーツ、Velo-city（※）の誘致に向けた取組推進

※Velo city・・・世界唯一の自転車の国際会議。60以上の国から1400名以上のサイクリスト、自治体、政策立案者、研究者、業界の有識者が参加

- アドベンチャーツーリズム関連の商談会（ATWS）出展（9月 @北海道）
- モデルコース・観光商品の追加造成
- Webサイト、プロモーション動画、SNSなどを活用したデジタルプロモーション

	2022年	2023年		2024年	2025年以降
取組方針		スライダーワールドカップ 開催支援	KILORUN大阪2023 (決定)	世界バドミントン 選手権大会 	2025年 全世界フルコンタクト 空手道選手権大会
		「CYCLE MODE RIDE OSAKA 2023」 開催支援 	Red Bull主催イベント 2件（決定）		2027年 Velo-city大阪誘致
取組内容	継続的な開催支援				
	国際的な大会、イベント、展示会誘致				
	スポーツ競技団体/連盟訪問、営業				
		ATWS (2023) @北海道	出展・プロモーション	Velo city (2024) @ケント (ベルギー)	Velo city (2027) 開催都市決定
			Velo City 誘致準備		2025年BID提出
			Velo city (2023) @ライプツィヒ (ドイツ)		

## ラグジュアリー① 受入環境整備

大阪・関西万博、IR開業に向け、消費額や多様性への拡大を目的に、

- ①ラグジュアリー向けコンテンツ拡大、地域・ターゲットの拡大、受入環境の整備
- ②IRに向けた「スーパーラグジュアリー」ネットワーク（超富裕層）の構築を開始

「世界中の富裕層を楽しませる特別な体験を提供する都市・大阪」をめざす！

### 1 受入環境整備の推進

- チャーター機（中・大型プライベート機）
  - ・空港における入国審査、専用レーンの柔軟な運用
- オーナー型ヨット（スーパーヨット）
  - ・受入港湾整備計画（専用ドック）への関与

### 規制緩和・整備

- VIP専用レーン設置
  - CIQ（入国管理・検疫・税関）一括対応
- 大阪市内発着のヘリポート整備（大阪市内発～近隣県）
  - ・5カ所（KIX・八尾空港・NHKヘリポート・府警ヘリポート・大阪ヘリポート）以外の都市中心部の離発着場整備が必要  
例）大阪城など
  - ・伊丹空港（大阪府、兵庫県にまたがる）  
⇒（空飛ぶタクシーやドローン飛行と一体的整備）
- スーパーヨット対応（スーパーラグジュアリー受入環境整備）
  - ・大阪湾ベイエリアに複数の係留地が必要  
（天保山、夢洲や堺港など複数港が必要）  
⇒ 一部入国やビザ問題は既に議員連盟で議論、対応済

### ■ ラグジュアリーネットワークの構築

- ・大人数のラグジュアリー層でも楽しめる空間（スペース）や世界トレンドのコンテンツを情報収集できるネットワーク構築を開始する

### 2（富裕層向け）コンテンツの整備

全国から上質なコンテンツを募集しテーマごとに特別体験を情報発信

- 文化芸術観光
- スポーツ
- 大阪の食
- メディカル&ヘルス

コンテンツ整備をととしてパートナーネットワーク構築開始



大阪ならではのこだわった取組で富裕層の訪問を促進

### 3 人材の確保・育成

#### ■ コンシェルジュ機能の育成と向上

- ・旅行者のニーズや趣味嗜好に対し即時対応できる環境を整備



## ラグジュアリー② メディカル&ヘルスツーリズム

大阪で医療を受けるために来阪する外国人患者等（インバウンド）の受入促進を図ることで、**大阪の国際医療貢献**を後押しするとともに**富裕層向けの観光コンテンツの開発・提供を通じた府内観光の消費拡大**を促す

### 「いのちと健康の未来都市・大阪」をめざす！

#### メディカル&ヘルスツーリズムの推進

##### ■大阪国際医療貢献プラットフォームの構築

###### (スキーム)

- ・大阪観光局とJTB間での包括連携協定の締結
- ・JTBメディカル&ヘルスケア事業部が実施する事業（メディカルツーリズムを目的とする問い合わせ先の明確化と顧客と医療機関、関連ステークホルダーとのマッチングなど）の府内展開の促進を図るため、アドバイザー機関を設置。

###### ※（仮称）大阪国際医療貢献推進委員会

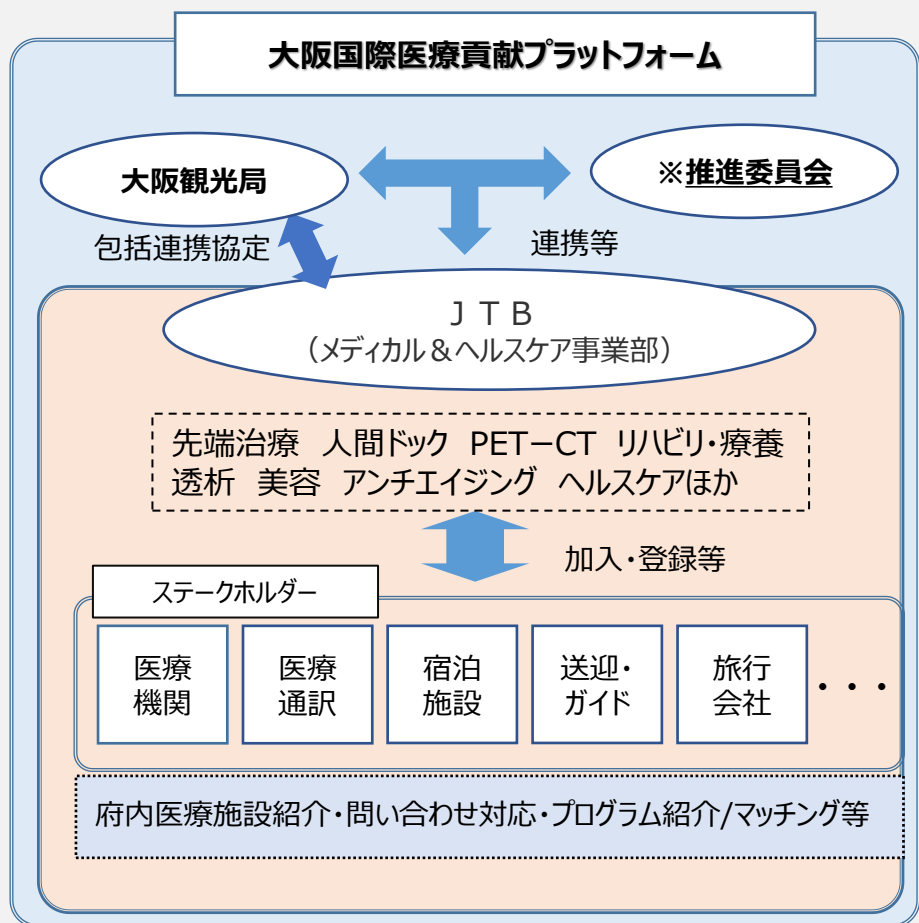
- メンバー：大阪医療関係者、JTB、大阪観光局（事務局）
- 役割：事業推進への意見・提言（海外市場へのPR（HP等）、ステークホルダー加入促進・環境整備、富裕層向けコンテンツ開発など）

###### (事業効果・メリット)

- ・富裕層ネットワークの構築（リスト化）
- ・ニーズに応じた富裕層向け観光コンテンツの開発と提供
- ・府内観光の消費拡大による経済波及効果
- ・海外への府内観光情報等の発信強化
- ・大阪における医療・サービスの認知度向上
- ・府内医療機関の受入体制整備促進

###### (連携コンテンツ)

- ・大阪みどり、スポーツ（サイクリング）、大阪の食、ナイトカルチャー等





## MICE推進活動

《2022年度の実績》

- 国内での誘致活動：MICE EXPO in Kansai（2022年12月7日）、国際MICEエキスポ（2023年2月16日）でブース出展
- 海外での誘致活動：IMEX（2022年5月30日～6月2日）IBTM（2022年11月29日～12月1日）にてブース出展、Vero-city（2022年6月）の視察
- SDGs for MICE認証制度：普及のセミナーを3回開催（延べ248名参加）
- 情報発信：ユニークベニューカタログ（データのみ）制作及び新規開発など

2032年を目途にアジア・大洋州地域トップ5<sup>(※)</sup>

の国際会議誘致件数をめざす<sup>(※)</sup> 『大阪MICE誘致戦略』

### 2023年度の取組方針

■ 2022年度の取組みを継続しながら、大阪府市と連携し新たな戦略に基づきMICE推進

■ 海外でのリアル商談会等への出展

（予定）・5月 IMEX MICE見本市出展@ドイツ・フランクフルト ・11月 IBTM MICE見本市出展@スペイン・バルセロナ

## 2025年大阪・関西万博を起爆剤と位置づけ以下の取組みを実施

- ① **引き続き、「リアルMICE開催の機運醸成」に全力投球（継続）**
  - ・ 大阪に日本全国のMICE関係者が集うMICE「MICE EXPO in Kansai」を大阪で創出し、大阪が名実ともにMICEの中心地となることをめざす
  - ・ 大阪からMICE復活の狼煙をあげる
- ② **主催者に選ばれるための環境整備とブランディング**
  - ・ PR強化（プロモーション・動画などPRツールの刷新、海外発信の強化）
  - ・ 安全・安心・清潔とMICEのサステナブル運営の推進（SDGs for MICE 評価制度の推進）
  - ・ ユニークベニューの開発（歴史的建造物にこだわらない、特別な空間 / 大阪登録文化財協会との連携）
  - ・ 産業観光など、アフターMICEの開発
- ③ **MICE案件を主催者と「共創する」営業とそのための体制構築**
  - ・ 万博に関連したMICEの誘致・創出（Team OSAKA MICE発足・活動）
  - ・ 主催者への働きかけや官民連携による誘致・創出強化
  - ・ 産業活性化や都市ブランド向上に資するMICEの優先誘致・創出
- ④ **IR事業にかかる国の認定を見据えた誘致体制強化策の推進**
  - ・ IR事業者との連携、開発計画に合わせた誘致活動の実施
  - ・ 大阪の機会損失を最小化するために、既存の主要会場との連携・情報共有を行うための基盤構築

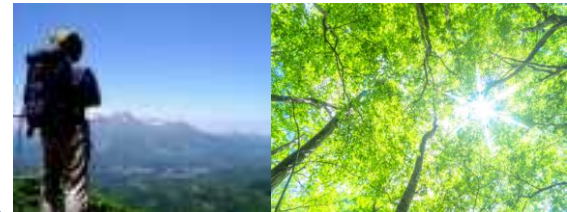
# 広域連携の取組み

日本のゲートウェイとして、大阪が「日本の観光のショーケース」となるコースを構築

テーマで各地を結ぶ  
モデルコース

HPでの情報発信  
(関西観光本部と連携)

ファムトリップと  
検証



- 2022年度①大阪～瀬戸内 (広島・岡山など) (海、島の景観・アート・食など)
- ②大阪～東京 (ゲートウェイ機能を活かした双方向流動・地方への送客)
- 2023年度①大阪～近畿 (奈良・和歌山など) (寺社仏閣・食など)
- ②大阪～福井 (自然・食など)

- ★大阪と魅力あるコンテンツを持つ地域が連携補完
- ★世界を魅了する上質な回遊観光ルートを開発
- ⇒ **国際観光文化都市 大阪の競争力強化**
- ⇒ **ゲートウェイ 都市機能強化**



兵庫県  
兵庫大阪連携会議設置

石川県加賀市  
包括連携協定締結済

グランドサークルプロジェクト  
(北陸新幹線海外誘客広域連携)  
関西・北信越・関東12都府県  
情報発信、海外AGT向け商談等

長野県・長野県観光機構  
包括連携協定締結済

東京観光財団  
包括連携協定締結済

高知県・高知県観光  
コンベンション協会  
包括連携協定締結済

東京と連携した  
プロモーション

世界から大阪へ!

予定：北海道エリア  
(北海道観光推進機構ほか)

予定：東北エリア  
(東北観光推進機構ほか)

予定：瀬戸内エリア  
(瀬戸内DMOほか)

予定：九州エリア  
(九州観光推進機構ほか)

# 広域連携の取組み

➤ 国際観光都市大阪 日本・アジアのゲートウェイとして大阪が「日本のショーケース」となる！

テーマ	ウェルネス・健康	食	スポーツ・アドベンチャー	美術館・博物館	忍者・サムライ	城郭・天守閣
詳細	健康・高原の空気 温泉・ヨガ・森林セラピーなど	食文化・各地の食材・食技術など	サイクリング・トレッキング・ハイキング スキー・ラフティング・グランピング キャンプなど	絵画・陶磁器・現代アート 漆器など	忍者、サムライ所縁の地・体験	世界遺産、文化財、甲冑 城下町、山城
ONE 関西	兵庫・大阪連携					
	関西の都市間の有機的な つながりによる関西全体の 総合力の向上	観光メニューの充実 ■ 広域周遊コースの開発 ■ 海上交通と連携した周遊コースの開発 ■ インバウンド向け教育旅行コース開発	トップセールス ■ 万博に向けたトッププロモーションの実施	海上交通など周遊観光の充実 ■ 夢洲での旅客船事業者相互乗入等を検討 ■ インバウンド向け観光モデルツアーの商品化検討 ■ 兵庫・大阪市内間水上ルートでの周遊社会実験の実施 ■ 海上交通の充実に向けた規制緩和の共同提案		
北海道ルート		北前船 昆布：北前船の回遊 ルートで関西の食文化と強い結び 付き	各スキー場・釧路湿原 道内サイクリング			五稜郭・松前城
北陸・中越 ルート	加賀市：加賀温泉郷 長野県（山之内・飯山など）	北前船 昆布 各地の食材 北前船の回遊ルートで関西の食 文化と強い結び付き	石川県・長野県：ハイキング 長野県：サイクリング	石川県：近代美術、九谷焼 長野県：現代美術、北斎館	長野県：戸隠、上田	長野県：松本城（国宝） 福井県：丸岡城（国宝） 越前大野城
瀬戸内ルート	愛媛県：道後温泉	大阪～泉州～和歌山～淡路島 鮮魚、野菜などの食材宝庫や 食材（鮮魚）を状態良く保存す る食技術（活締めなど）	愛媛県：サイクリング （しまなみ海道）	瀬戸内国際芸術祭	村上水軍	岡山県：備中松山城（重文） 島根県：松江城（国宝） 愛媛県：松山城（重文） 香川県：丸亀城（重文）
九州ルート	大分県：別府、湯布院 黒川温泉 鹿児島：指宿温泉	鹿児島 枕崎 かつおぶし、だし文化 各地の有名な食材 北前船の回遊ルート	宮崎県：ゴルフ	福岡県：九州国立博物館 大分県：OPAM美術館	古事記・日本書紀エリア	



# 「大阪＝日本の観光ショーケース」に向けた取組みの推進 広域・府域・市域の取組み

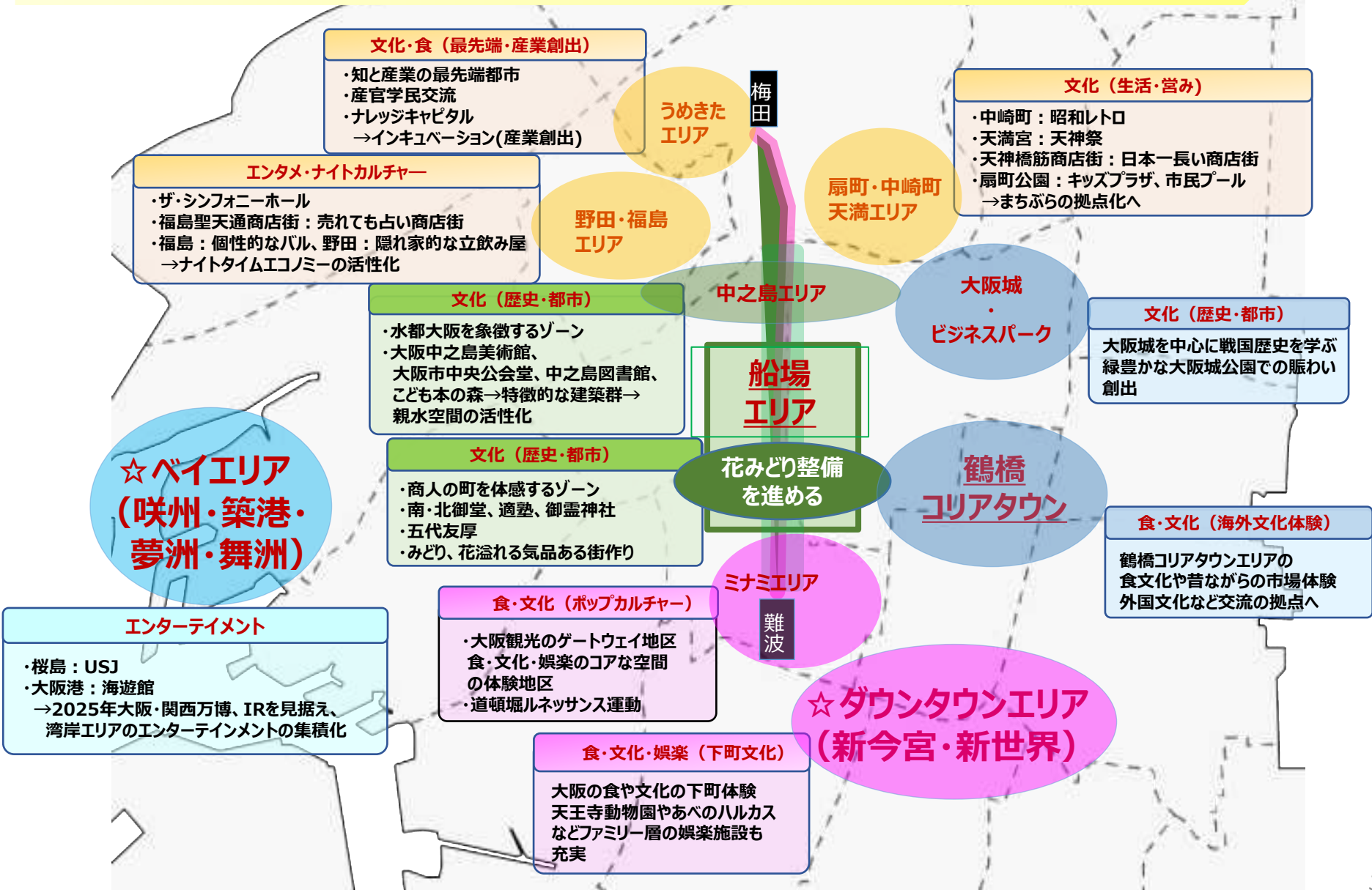
## 府域周遊の取組み

- ◆大阪の魅力を再発見、歴史文化の見直し（高付加価値・体験価値化）
- ◆大阪の魅力をテーマ別、ルート別に整理（ゾーニングとの連携）
- ◆積極的に観光振興に取り組む市町村に対して重点的に各種施策・支援を実施
- ◆近郊ワーケーション、都市型（大阪型）ワーケーションの検討
- ◆市町村のプロモーションから商品化・送客までを視野に入れて展開（鉄道会社との連携）
- ◆地域関連事業者、企業と旅行会社との情報交換会（マッチング）の実施

市町村・エリア	テーマ	令和5年度取組予定
北大阪・箕面	自然・歴史文化	みどり・自然(滝)、寺社(瀧安寺、西江寺、勝尾寺)など、歴史・文化を活かしたコンテンツ開発
羽曳野・柏原	スポーツ・自然、食	サイクリングとワイン、ぶどう、梅酒といった食資源を合わせたコンテンツ開発
北河内・中河内地域(門真・東大阪・八尾・柏原等)・堺	ものづくり	近隣連携産業観光「ファクトリズム」や、東大阪町工場「こーばへ行こう」など世界に誇るものづくりを活用したコンテンツ開発
堺・羽曳野・藤井寺	世界遺産	百舌鳥・古市古墳群への周遊観光ルートづくりによる誘客促進(キャンペーンを活用した商品開発・プロモーション)、達人ガイドによるツアー商品化、ガス気球体験を含むコンテンツの開発
河内長野・泉佐野	日本遺産	竹内街道、中世文化遺産など、日本遺産登録のブランドを活かした情報発信、誘客促進
泉州	食	食・食文化をテーマとした食のSDGsに関するセミナーの開催・情報発信・モデルコースの造成、和泉市(農泊体験)、阪南市(なにわ黒牛、日本酒、漁業)、大阪産(もん)食材(水なす、泉州玉葱、海産物)などの情報発信
堺	歴史・文化	茶の湯文化、歴史文化、食文化、和菓子、伝統産業を軸としたコンテンツ開発
岸和田・泉州	歴史文化/食	岸和田城下町(城郭)を活用したコンテンツ開発、特産野菜の彩誉(あやほまれ)人参収穫ツアー、だんじり、黒鯛(チヌ)を使ったメニュー開発
箕面・四條畷	みどり	フォーラムの実施、自然を生かしたSDGsにもつながるコンテンツ開発
大阪・全域	まつり・伝統行事	天神祭、住吉祭、だんじり祭等をはじめとする伝統行事、寺社、城郭等の文化財を活用した特別感のあるコンテンツの開発

「大阪＝日本の観光ショーケース」に向けた取組みの推進 広域・府域・市域の取組み  
**大阪市内エリアゾーニング**

**大阪・関西万博を見据え、来訪者がエリアの魅力を目的に周遊する街に**



# 「大阪＝日本の観光ショーケース」に向けた取組みの推進 広域・府域・市域の取組み 大阪市内エリアゾーニング

## 《2022年度の実績》

- Airbnb等と連携し施設へ動向視察を実施、ワーケーション、ペットのテーマでの双方のサイトでの同時情報発信の連携を実施
- 船場エリアを中心に様々な美容関連体験が可能なビューティーパスの造成に向け、協議を開始しWebサイトを立ち上げ
- コリアタウンで韓国に関連する文化体験が可能なコリアタウンツアーをリニューアルし、いらっしやいキャンペーン2022内で販売

### 船場・中之島エリア

歴史ある問屋街・船場では、高層マンションの建設が進んだことにより夜間人口が増加傾向  
高級ホテルの進出もすすみ、今後ますます注目される両エリアの付加価値と満足度向上に取り組む

■ 心齋橋・本町・淀屋橋（中之島）エリア

■ キーワード

- ・ハイセンス・ファッション（ブランド街）
- ・ビューティー、スイーツ、アンチエイジング
- ・富裕層・みどり（花）
- ・美術、博物館



▶ スイーツパス（仮）を新規造成（2023年頃夏頃販売予定）

### 鶴橋コリアタウンエリア

ピークの2019年には来訪者200万人を突破！  
食文化や韓国化粧品やメイクアップ体験、韓国文化体験など、交流の拠点としての整備をすすめ、日本一のコリア・タウンをめざす

着地型体験ツアー造成

「鶴橋・大阪コリアタウン選べる満喫ツアー」

韓国メイク、チマチョゴリ体験と韓国ガイド付散策

NHK「ニュースほっと関西」、  
毎日新聞全国版の特集記事で紹介



5月3日「JEJUマルシェ2022in  
大阪コリアタウン」オープニングセレ  
モニーへ溝畑理事長が出席。  
多くの人で賑わった



▶ 食べ歩きを目的としたパスに再構築（2023年夏頃販売予定）

## 2023年度の取組み（予定）

ダウンタウンエリア（新今宮・新世界）

定番の大阪⇄新たな大阪を両方体験



- 大阪市内の中心地・新今宮の新たなランドマーク「OMO7」に宿泊し、食べて遊んで楽しめるエリア

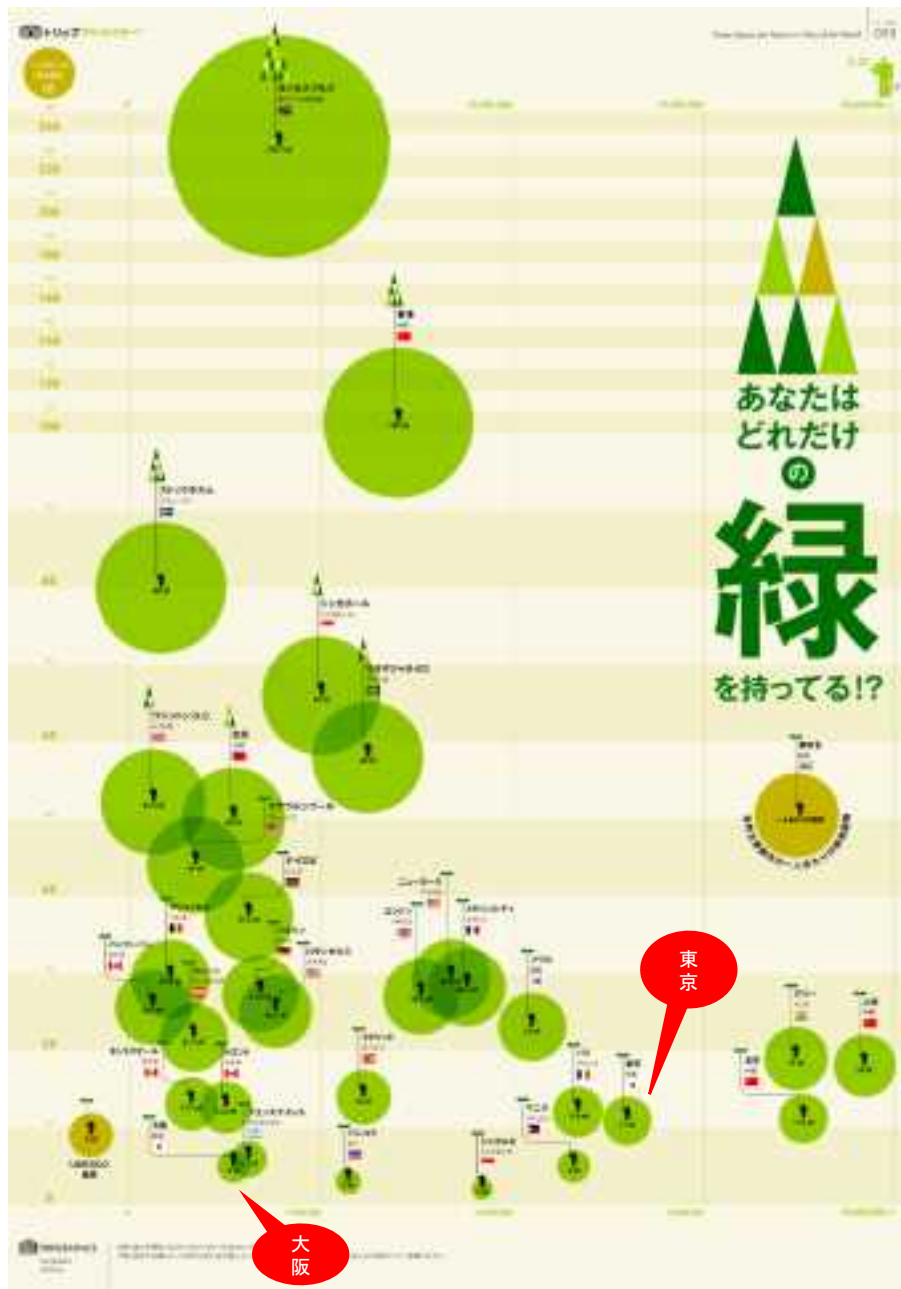
「ピリケン」を活用した企画の検討

ベイエリア（咲州・築港・舞洲・夢洲）

大阪・関西万博の玄関口となる魅力あるエリア



- インバウンドにも大変人気のアーバンリゾートホテル「ハイアットリージェンシー大阪」に宿泊し、ここにしかない体験ができるエリア



世界主要都市の一人当たりの緑地面積

都市名	国名	一人当たり面積
ストックホルム	スウェーデン	80㎡
シンガポール	シンガポール	66㎡
香港	中国	105㎡
台北	台湾	50㎡
ソウル	韓国	23㎡
パリ	フランス	11.8㎡
<b>大阪</b>	<b>日本</b>	<b>5㎡</b>
東京	日本	11㎡
ロンドン	イギリス	26.9㎡
マドリード	スペイン	14㎡
トロント	カナダ	12.6㎡
ウーン	オーストリア	21.7㎡
ニューヨーク	アメリカ	29.3㎡

日本は一人当たり面積が少ない!!

出典：国土交通省GreenCityIndexSlemensAG (2011)  
UNESCO / トリップアドバイザー TRIPGRAPHICS

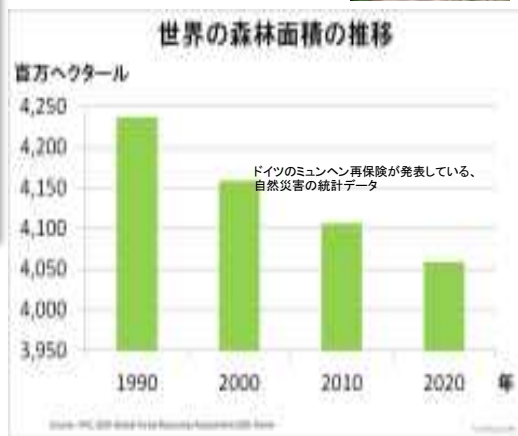


**地球が、生物が悲鳴をあげている。**

地球の気温上昇  
2100年、6.4度上昇



世界の森林面積  
1990年から約半数減



## 自然の危機に声を上げる

日本でも、**みどり・里山が消え**、その結果**動物を減らし、自然環境を悪化**させている。  
この状況を改善し、豊かな自然を**未来に受け渡して**いきたい。

## 地球市民として、環境回復に取り組んでいく

日本みどりのプロジェクトはこの思考に基づき  
自然環境保全活動のプラットフォーム化を目指す

**動物たちが、声も出さずに静かに消えていく**

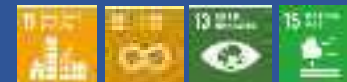
地球温暖化の影響を受けている**絶滅危機種は4,000種以上**

人間の様々な活動の結果、多くの種が失われるなら、それは、**人類の生存を危うくするだけでなく、地球のすべての生き物や生態系に影響を与えることになる。**





# 大阪・関西万博、IR開業に向けたSDGsの機運醸成及び取組みの推進 大阪みどりの取組み（日本みどりのプロジェクト）



環境省・総務省・農水省・国土交通省・林野庁・観光庁など



会員(企業・団体・自治体等)

提言・相談

## 会員さまへの（提供価値）

### ■ネットワーク構築

国・自治体・企業横断的なネットワーク構築

### ■情報発信

各プロジェクトの横断的な情報共有・国側への情報発信

### ■フィールド提供

行政・民間事業者が実施できるフィールドを提供する

## 日本みどりのプロジェクト推進協議会

阿部守一	長野県知事（会長）	濱田省司	高知県知事
一見勝之	三重県知事	平井伸治	鳥取県知事
蒲島郁夫	熊本県知事	吉村洋文	大阪府知事
花角英世	新潟県知事	玉城康裕	沖縄県知事
内堀雅男	福島県知事	溝畑 宏	大阪観光局理事長
村井嘉浩	宮城県知事	野原莞爾	長野県観光機構理事長

■事務局：長野県、（一社）長野県観光機構、（公財）大阪観光局、（一社）ナショナルパークスジャパン、（一社）テラプロジェクト

アンバサダー

市川海老蔵・隈研吾・渡辺謙 ほか

アドバイザー

涌井雅之・小林昭雄・星野佳路・田子和則 田中権宮司・養老孟司 ほか

協力団体

日本国際博覧会協会、智の木協会 ほか

敬称略

### 日本の自然ショーケース万博プロジェクト

日本各地の自然や木材の活用及び「日本の自然のショーケース」として**世界へ発信**

### Green Recoveryプロジェクト

**産官学連携**により、コロナ禍からの**経済回復**と環境問題解決を同時に推進

### Go Greenプロジェクト

自然（みどり）を核にアフターコロナを見据えた**新たな旅を提案**

### One Greenプロジェクト

植樹や**都市緑化の取組み**を推進、みどりの素晴らしい生活空間を創造

### National Parkプロジェクト

国立・国定**公園等**における保護と**利用の推進**

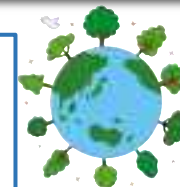
①SDGs貢献  
フィールド拡大

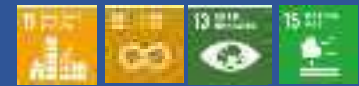
②イノベーティブな  
新事業創出

③地域貢献  
経済波及効果

④環境改善・保全への  
具体的貢献

- 連携・交流から生まれる、**新たな観光スタイル・循環型ライフスタイル**のスキーム構築
- 賛同都道府県とのビジネス連携による**雇用創出と経済波及**
- イノベーティブな**事業提案**





「日本みどりのプロジェクト」で実施する「5つのプロジェクト」へ関与し、ネットワークを構築することで、地域の環境・観光誘致へ還元する。

## ① 大阪・関西万博「日本の自然のショーケース」実現プロジェクト

日本各地の自然や木材の活用及び「日本の自然のショーケース」としての情報発信

- 2025年万博での、森林資源の重要性を広く**世界に発信**  
2025年大阪・関西万博会場での全長約2km円周大回廊木質化と静けさの森に関与

## ② Green Recovery プロジェクト

産官学連携により、コロナ禍からの経済回復と環境問題解決を同時に推進

- 木質化推進や国産材利活用による**持続可能な林業**や**地域循環・自然共生社会の実現**  
全国公共・民間施設の木質化の推進のためのマッチングプラットフォーム形成

## ③ Go Green プロジェクト

自然（みどり）を核にアフターコロナを見据えた新たな旅を提案

- Afterコロナを見据えた環境に配慮した、**新たな旅の提案**や**カーボンオフセット**旅行の普及  
「サステナブル・ツーリズム」の推進、環境学習旅行プログラムの開発など

## ④ One Green プロジェクト

植樹や都市緑化の取り組みを推進、みどりの素晴らしい生活空間を創造

- 生活空間にみどりを取り入れ、地域環境と**QOL向上**をめざす  
QOLを向上させる市民活動の推進、エリアへのみどりの導入推進など

## ⑤ National Park プロジェクト

国立・国定公園等における保護と利用の推進

- **自然保護と公園の利活用**を推進。**規制緩和**で利用促進  
国立（・国定）公園をはじめとする自然公園への観光客誘致及び自然資源活用など

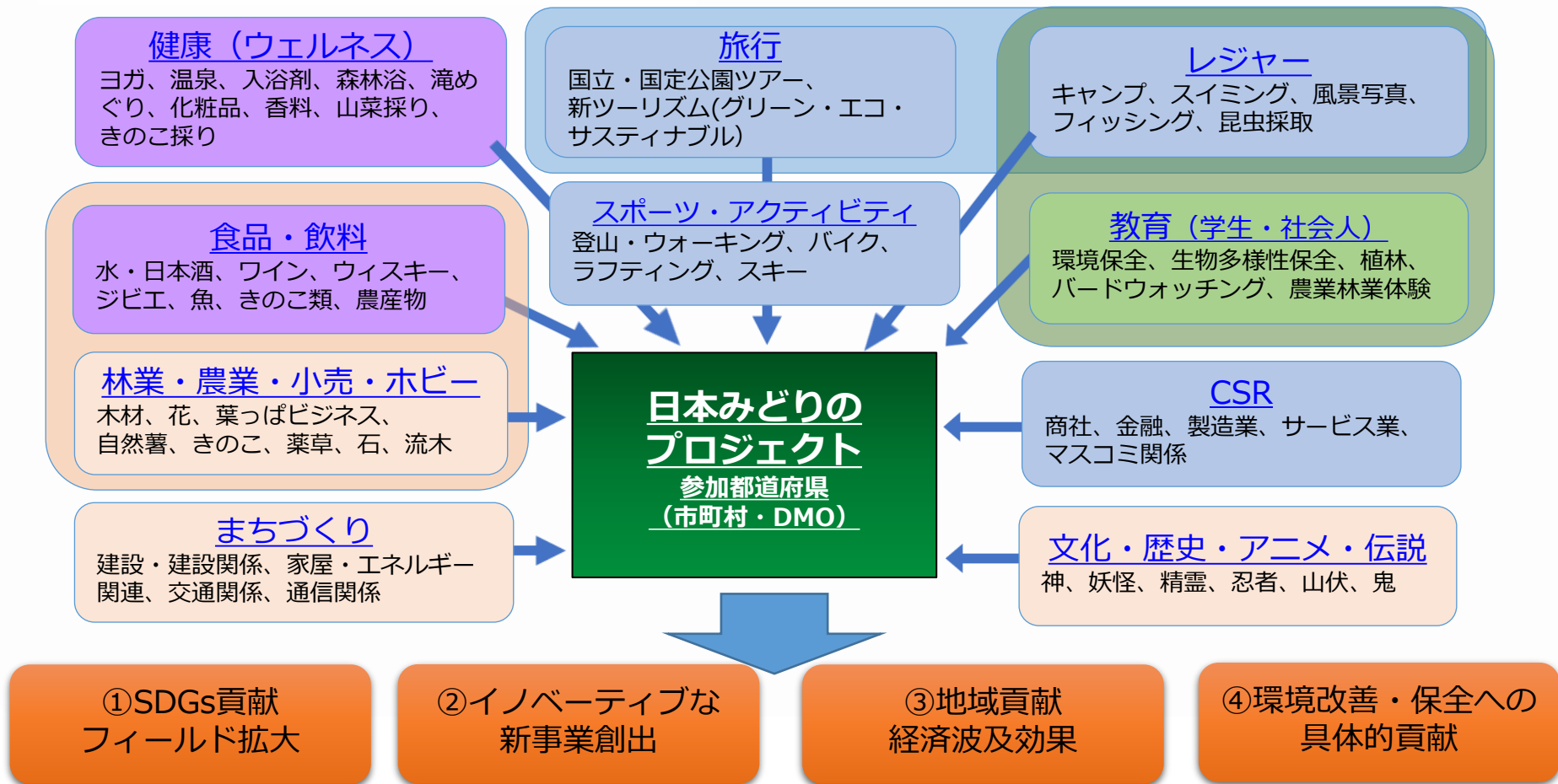


提供：2025年日本国際博覧会協会



# 緑化・環境への取組みを推進 オールジャパンで取組む「日本みどりのプロジェクト」

- 2025年の大阪・関西万博で世界へのアピールと国民への啓発
- 観光振興、文化振興、地域経済の活性化を図る、持続可能なプラットフォームの構築
- 環境保全やSDGsの取組みを早く・広く



- 連携・交流から生まれる、新たな観光スタイル・循環型ライフスタイルのスキーム構築
- 賛同都道府県とのビジネス連携による雇用創出と経済波及
- イノベーティブな事業提案

# 留学生支援・教育旅行誘致



## 《2022年度の実績》

### 留学生支援

- EduOsakaの実施（125カ国、1,319名参加）
- 外国人留学生EXPOの開催（来場者681名、参加企業・団体26社）
- OGSAN、ONISE関係イベントの実施（58回実施、1,655名参加）
- Study in Osaka YouTube及びFacebook広告の実施

### 教育旅行誘致

- 大阪修学旅行サイト「Osaka-LOG」の更新（2022年20万超PV）
- 関西5府県連携での海外プロモーション（オンラインイベント3件、ファミ1件）
- なにわ商人（あきんど）体験の実施体制強化（府外の高校6校から177名）
- 「まいど！大阪EXPOプログラム」全6コース開設（6件、700名利用）
- 専門学校生（4校、16名）、OGSAN（6名）のインターンシップの実施
- 訪日教育旅行の受入れ（37件、821名）
- 大阪B&Sプログラムの実施（19件、2,256名）



## 2023年度の取組方針



### 留学生支援

- 外国人留学生EXPOの開催
- 留学生ウィークの開催
- EduOsaka2023の開催
- ポータルサイト改修



### 教育旅行誘致

- 新規教育旅行商品の開発
- 旅行事業者向け教育旅行向けセミナー
- 関西5府県と連携した海外プロモーション
  - ・香港の学校教員に向けたFAMトリップ実施
  - ・韓国への現地リアルプロモーションの実施（セミナー等を実施予定）



	2022年	2023年	2024年	2025年以降
--	-------	-------	-------	---------

取組方針	留学生支援	留学生支援コンソーシアム大阪の運営			
	教育旅行誘致	SDGs型教育旅行の推進			

■ 4部門（誘致・支援・活用・就労）計16のアクションプランの推進

- 「大阪B&Sプログラム」、「まいど！大阪EXPOプログラム」の更なる開発・推進
- 「商人（あきんど）体験」や海外からの教育旅行（学校交流・視察）の有料化による収益増

**2019年度（※）同様、教育旅行誘致件数全国No.1の達成へ！ ※2019年度 204件**

取組内容	留学生支援	2022	<ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生満足度 77%</li> <li>・留学生数 3.5万人</li> <li>・留学生就職率 34.4%</li> </ul>	→	2025	<ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生満足度 82%</li> <li>・留学生数 4万人</li> <li>・留学生就職率 45%</li> </ul>	→	2030	<ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生満足度 <b>90%</b></li> <li>・留学生数 <b>5万人</b> (経済波及効果（※）約890億円)</li> <li>・留学生就職率 <b>80%</b></li> </ul>
	教育旅行誘致	2022	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育旅行誘致件数 54件</li> <li>・大阪B&amp;Sプログラムの利用 2,256名</li> </ul>	→	2024	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育旅行誘致件数 210件</li> <li>・大阪B&amp;Sプログラムの利用 5,000名</li> </ul>	→	2025	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育旅行誘致件数 <b>250件</b></li> <li>・大阪B&amp;Sプログラムの利用 <b>6,000名</b></li> </ul>

※ 平成27年大阪府産業連関表経済波及効果推計ツールで推計